

柏の景気情報（平成19年6月分）

柏 商 工 会 議 所

（本件担当） 柏商工会議所 中小企業相談所 振興課
〒277-0011 千葉県柏市東上町7-18
T E L : 04-7162-3305
F A X : 04-7162-3323
U R L : <http://www.kashiwa-cci.or.jp>
E-mail : info@kashiwa-cci.or.jp

柏の景気情報（平成19年6月分）

○ 調査期間 : 平成19年6月18日 ~ 6月21日

○ 調査対象 : 柏市内99事業所及び組合にヒアリング

＜産業別回収状況＞

調査産業	調査対象数	回答数	回収率
全産業	99	69	69.7%
建設	17	14	82.4%
製造	23	18	78.3%
卸・小売	40	6	62.5%
サービス	19	12	63.2%

○ 調査方法と調査表 : 下記「質問A」をDI値集計し、「質問B」で「業界内のトピック」の記述回答。

質問A

質問事項	回答欄					
	前年同月と比較した 今月の水準			今月の水準と比較した向 こう3ヶ月の先行き見通し		
a.売上高 (出荷高)	1 増加	2 不変	3 減少	1 増加	2 不変	3 減少
b.採算 (経常利益ベース)	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化
c.仕入単価	1 下落	2 不変	3 上昇	1 下落	2 不変	3 上昇
d.従業員	1 不足	2 適正	3 過剰	1 不足	2 適正	3 過剰
e.業況	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化
f.資金繰り	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化

質問B 業界内のトピック(記述式)

DI値 = 1 増加他の回答割合 - 3 減少他の回答割合

※ DI値(景況判断指数)について

DI値は、売上、採算、業況などの項目についての判断状況を表す。0(ゼロ)を基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

※ DI値と景況の概況

DI ≥ 50	50 > DI ≥ 25	25 > DI ≥ 0	0 > DI ≥ ▲25	▲25 > DI
特に好調	好調	まあまあ	不振	極めて不振

【平成19年6月の調査結果のポイント】

◀ 業況DIは2ヶ月連続でマイナス幅が拡大、再び足踏み ▶

○6月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲21.7(前月水準▲19.4)となり、マイナス幅が▲2.3ポイント拡大した。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、建設業▲21.4(同▲26.6)、卸小売業▲32.0(同▲32.1)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、サービス業▲25.0(同▲9.0)、製造業▲5.5(同±0.0)である。

【建設業】では、「良い話題はありません」(土木建築工事)との声や、「役所工事の発注があるが、予定価格を超える積算金額になってしまう(材料価格高騰)」(土木建築工事)といった不採算の声や、「天気により工程が左右され、悩みの種」(板金工事)といった天候の影響に関する声が寄せられた。

【製造業】では、「原材料価格の高騰を販売価格に転嫁するよう努力している」(工業用ゴム製品製造)といった仕入上昇に対して価格転嫁の声や、「複写機・プリンター関係に使用されているキャリアは好調だが、相変わらずカイロ関係は不調」(鉄粉製造)との声が寄せられた。また、「6月初旬に来場者10万人規模の展示会に出品したが、例年以上に来場者、引合が多かった」(包装・組立機械製造)といった展示会好評のコメントも寄せられている。

【卸小売業】では、「前月に引き続き、月初から入店客数・売上共に回復傾向」(各種商品小売)との声が寄せられているが、「昨年はたばこ値上げに伴う駆け込み需要があったため、6月の売上が良かったが、今年はその分の売上が落ちている」(コンビニエンスストア)、「野菜の入荷減少、単価安値、果実は入荷減の単価高であり、全体的にも売上減少し、今後も大きな変化は見られない」(青果卸売)、「原油高騰」(燃料小売)との声の他、「パート・アルバイトの確保が非常に困難になっている」(コンビニエンスストア、飲食料点小売)といった人材不足の声や、「柏の店は競争激化のため大変厳しい。他の店は大変良い店もあり、店舗間格差が大変大きい」(婦人雑貨小売)との厳しい声が寄せられている。特に、「今年は猛暑予想(ラニーニャ)され、衣料品を中心とした盛夏商品の伸びを期待」(総合スーパー)といった天候の影響に関する声が多く寄せられている。また、「金利等の影響は無いが、今一番消費を鈍化させているのは、年金・天下りなど政治的な問題だ」(食料卸売)との声や、「流山おおたかの森SCの開業後3ヶ月が過ぎ、他の商業施設においては、その実質的な影響度が明確になってくる。さらに柏ステーションモールの改装が8月に一段落し、商圈内における各商業施設の優勝劣敗が見えてくる」(百貨店)、「8月初旬まで続く大型店導入に伴うリニューアル工事の影響により、入店客数・売上高共に前年を下回る推移となっている」(各種商品小売)といった大型店出店、ステーションモール改装工事に関する声の他、柏関連雑誌『柏ウォーカー』7月27日発売予定」(書籍小売)といったコメントも寄せられている。

【サービス業】では、「国は経済が好転していると言うが、依然一般消費は伸びていない」(日本料理)といった厳しい声の他、「忙しい週と暇な週が交互にきます。ボーナスが出た後は予約が増えた」(レストラン)といった予約増加の声や、「宴会・会議・展示会ともに平年並み。宿泊はスポーツ団体需要が多い」(ホテル)との声も寄せられている。他に、「県内の業界で毎年施行される理容フェスティバルを柏支部で11月20日プラザハイアンで開催。柏の他の業種にも活況が出ればと考えます」(理容)とのコメントも寄せられている。

◎天候の影響

「天気により工程が左右され、悩みの種」(板金工事)との声の他、卸小売業からは「今年は猛暑予想(ラニーニャ)され、衣料品を中心とした盛夏商品の伸びを期待」(総合スーパー)、「梅雨入りとなったが、空梅雨が予想され、気温も高く、カジュアルな夏物衣料品が売れている。単価が低く、売上を押し上げるまでにははいたってない」(各種商品小売)といった夏物商品に関する声や、「例年がない異常気象の予測の中、数量の減少や品質低下等、産地状況を良く把握し、安定した供給と需要に対応する」(青果卸売)、「売上、仕入については天候を見極めて慎重にしたい」(飲食料点小売)といった今後の仕入動向についての声が寄せられている。

◎厳しい状況

「良い話題はありません」(土木建築工事)、「小売販売業者の厳しい経営環境はますます不利。柏支部登録名簿から毎月のように会員が削除されている」(燃料小売)、「柏の店は競争激化のため、大変厳しい。他の店は大変良い店もあり、店舗間格差が大変大きい」(婦人雑貨販売)、「国は経済が好転していると言うが、依然一般消費は伸びていない」(日本料理)といった厳しい声が各業種から寄せられている。

	全産業	建設	製造	卸・小売	サービス
1月	▲15.2	▲15.3	▲22.2	▲13.7	▲8.3
2月	▲25.7	▲20.0	▲22.2	▲38.4	▲9.0
3月	▲22.8	▲38.4	▲5.8	▲37.9	△9.0
4月	▲15.7	▲6.2	▲5.8	▲33.3	±0.0
5月	▲19.4	▲26.6	±0.0	▲32.1	▲9.0
6月	▲21.7	▲21.4	▲5.5	▲32.0	▲25.0
見通し	▲17.3	▲21.4	△5.5	▲24.0	▲33.3

見通しは今月の水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI

【DI値集計表】

	売上高(受注・出荷)		採算		仕入単価		従業員	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
全業種	▲ 8.6	△ 1.4	▲ 23.1	▲ 7.2	▲ 42.0	▲ 27.5	△ 13.0	△ 17.3
建設	▲ 14.2	▲ 21.4	▲ 35.7	▲ 42.8	▲ 50.0	▲ 35.7	△ 14.2	△ 21.4
製造	▲ 16.6	△ 33.3	▲ 22.2	△ 22.2	▲ 61.1	▲ 33.3	±0.0	△ 11.1
卸・小売	▲ 4.0	▲ 8.0	▲ 16.0	±0.0	▲ 32.0	▲ 20.0	△ 12.0	△ 12.0
サービス	±0.0	±0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	△ 33.3	△ 33.3

	業況		資金繰り	
	前年比	先行き	前年比	先行き
全業種	▲ 21.7	▲ 17.3	▲ 5.7	▲ 7.2
建設	▲ 21.4	▲ 21.4	△ 7.1	▲ 7.1
製造	▲ 5.5	△ 5.5	△ 5.5	△ 5.5
卸・小売	▲ 32.0	▲ 24.0	▲ 20.0	▲ 16.0
サービス	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 8.3	▲ 8.3

【平成19年6月の業況についての状況】

○ 6月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲21.7(前月水準▲19.4)となり、マイナス幅が▲2.3ポイント拡大した。

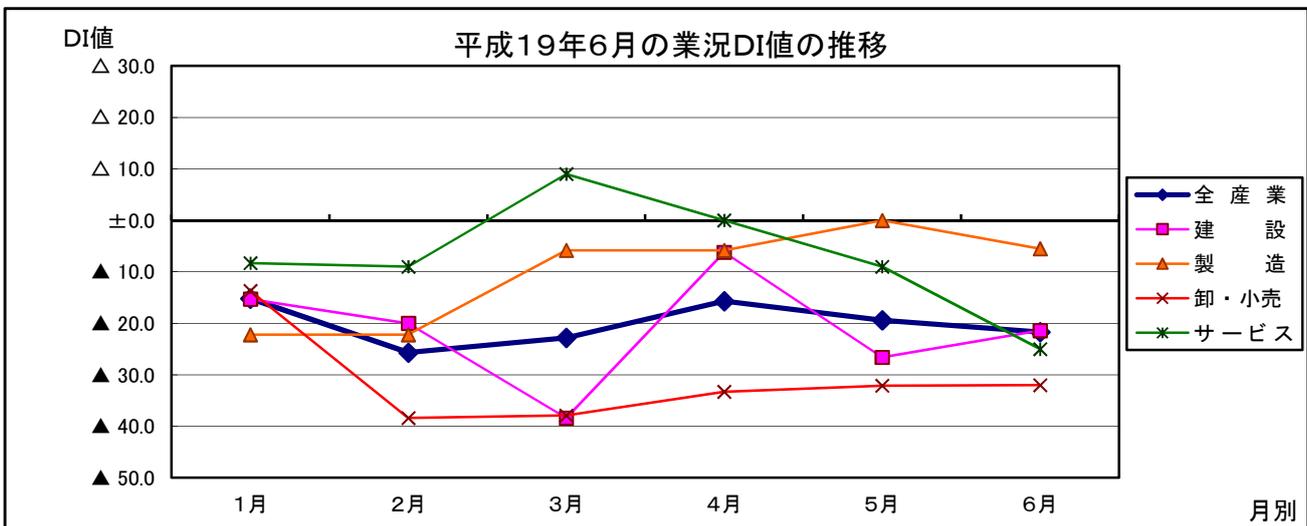
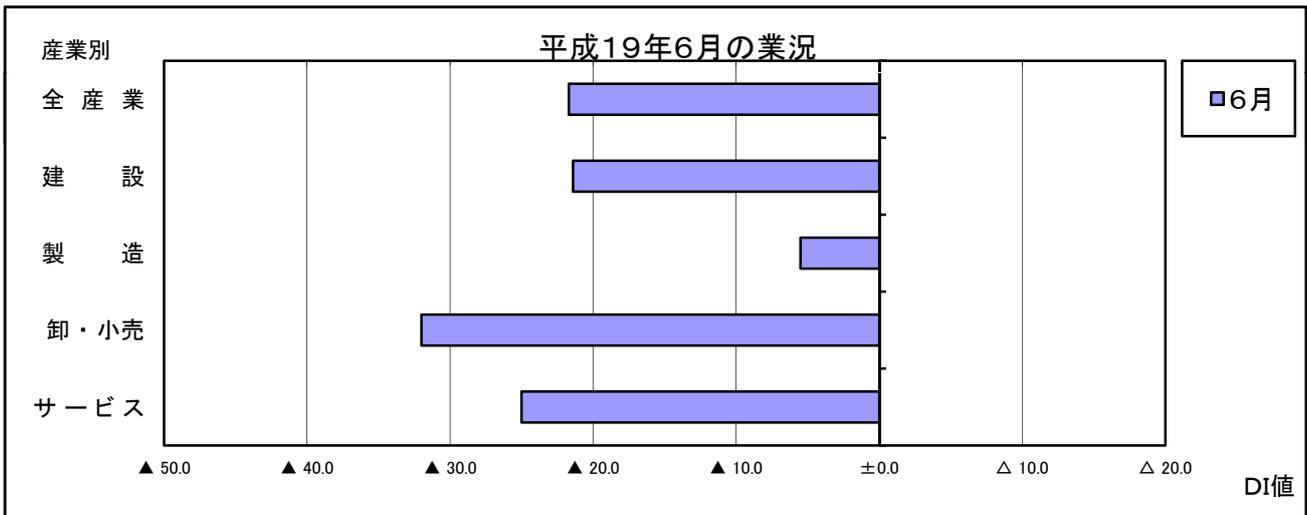
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、建設業▲21.4(同▲26.6)、卸小売業▲32.0(同▲32.1)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、サービス業▲25.0(同▲9.0)、製造業▲5.5(同±0.0)である。

○ 向こう3ヶ月(7月から9月)の先行き見通しについては、全産業では、▲17.3(前月水準▲16.6)となり、マイナス幅が▲0.7ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、建設業▲21.4(同▲26.6)、卸小売業▲24.0(同▲28.5)である。プラス幅が縮小する見通しの業種は、製造業△5.5(同△11.1)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、サービス業▲33.3(同▲18.1)である。

平成19年6月業況DI値(前年同月比)の推移

	平成19年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 7月~9月(6月~8月)
全産業	▲15.2	▲25.7	▲22.8	▲15.7	▲19.4	▲21.7	▲17.3(▲16.6)
建設	▲15.3	▲20.0	▲38.4	▲6.2	▲26.6	▲21.4	▲21.4(▲26.6)
製造	▲22.2	▲22.2	▲5.8	▲5.8	±0.0	▲5.5	△5.5(△11.1)
卸・小売	▲13.7	▲38.4	▲37.9	▲33.3	▲32.1	▲32.0	▲24.0(▲28.5)
サービス	▲8.3	▲9.0	△9.0	±0.0	▲9.0	▲25.0	▲33.3(▲18.1)



【平成19年6月の売上についての状況】

○ 6月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲8.6(前月水準▲20.8)となり、マイナス幅が△12.2ポイント縮小した。

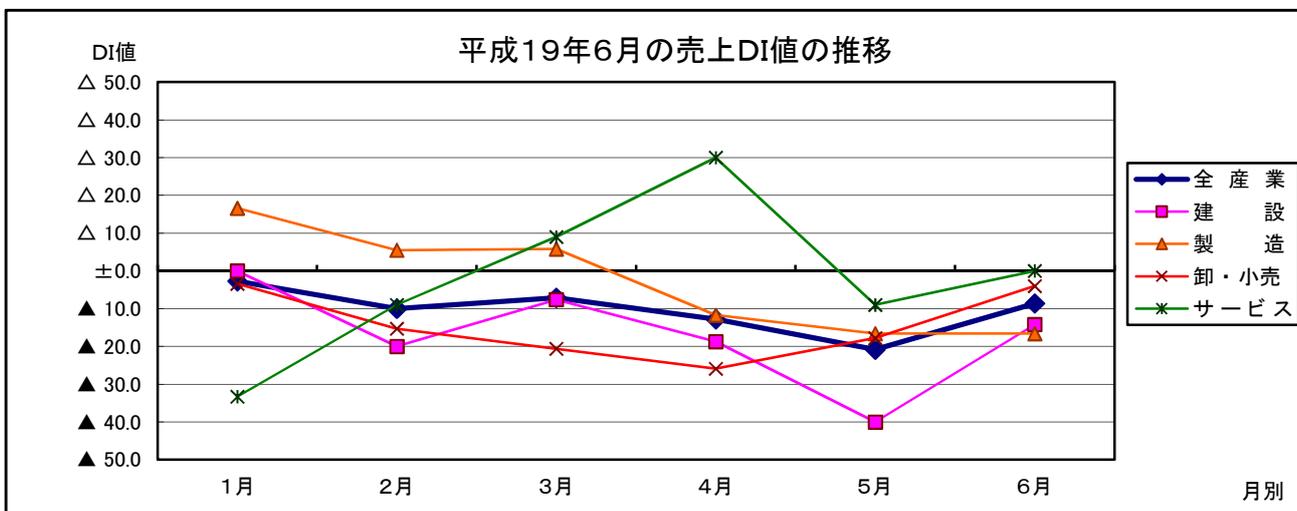
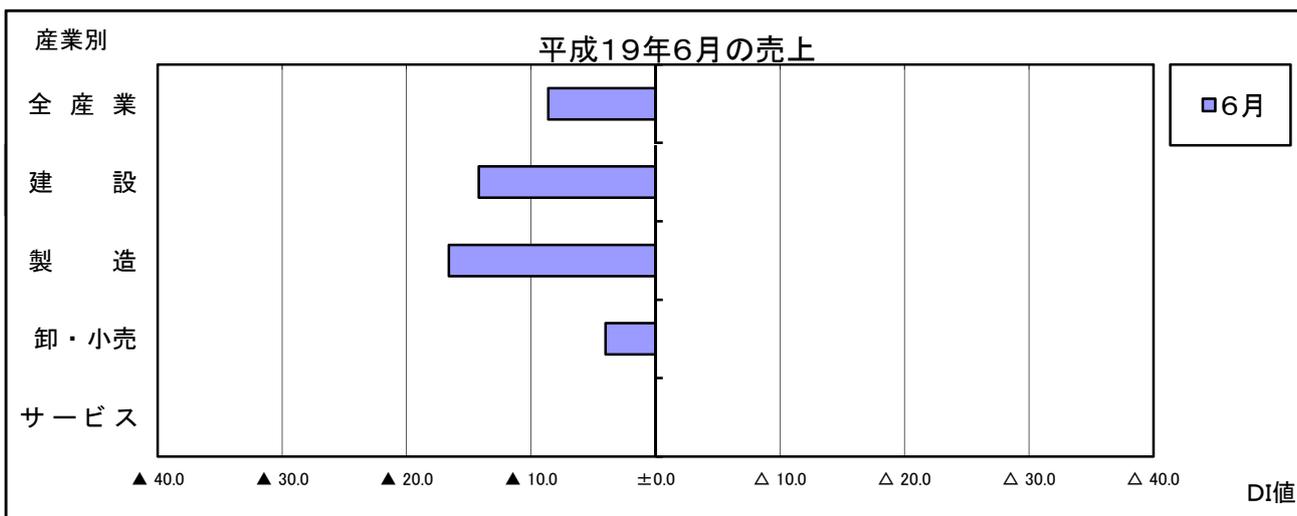
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、建設業▲14.2(同▲40.0)、卸小売業▲4.0(同▲17.8)、サービス業±0.0(同▲9.0)である。特に、建設業はマイナス幅が△25.8ポイントと大幅に縮小した。変らない業種は、製造業▲16.6(同▲16.6)である。

○ 向こう3ヶ月(7月から9月)の先行き見通しについては、全産業では△1.4(前月水準▲5.5)となり、プラス幅が△6.9ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大する見通しの業種は、製造業△33.3(同△27.7)である。マイナス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、建設業▲21.4(同▲33.3)、卸小売業▲8.0(同▲14.2)である。変らない見通しの業種は、サービス業±0.0(同±0.0)である。

平成19年6月の売上DI値(前年同月比)の推移

	平成19年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 7月~9月(6月~8月)
全産業	▲2.7	▲10.0	▲7.1	▲12.8	▲20.8	▲8.6	△1.4(▲5.5)
建設	±0.0	▲20.0	▲7.6	▲18.7	▲40.0	▲14.2	▲21.4(▲33.3)
製造	△16.6	△5.5	△5.8	▲11.7	▲16.6	▲16.6	△33.3(△27.7)
卸・小売	▲3.4	▲15.3	▲20.6	▲25.9	▲17.8	▲4.0	▲8.0(▲14.2)
サービス	▲33.3	▲9.0	△9.0	△30.0	▲9.0	±0.0	±0.0(±0.0)



【平成19年6月の採算についての状況】

○ 6月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲23.1(前月水準▲15.2)となり、マイナス幅が▲7.9ポイント拡大した。

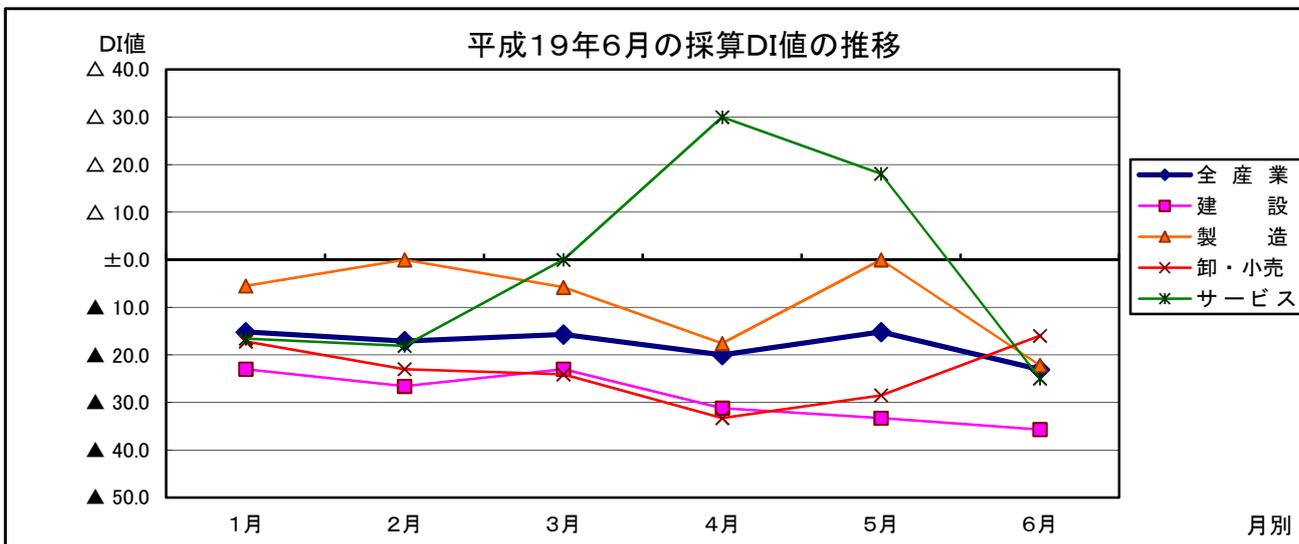
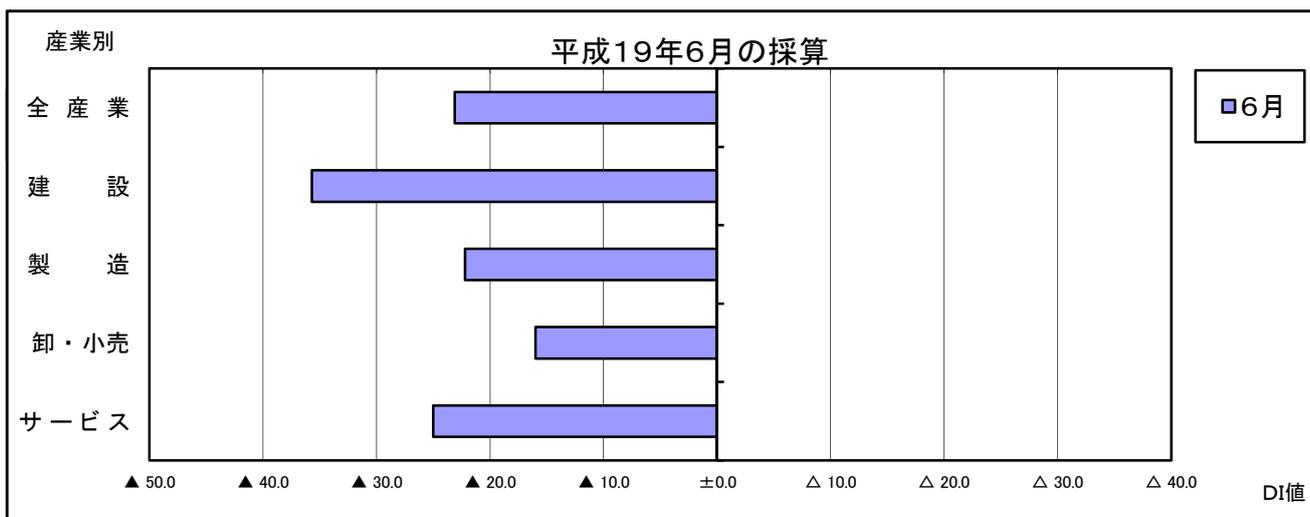
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、卸小売業▲16.0(同▲28.5)である。プラスからマイナスに転じた業種は、サービス業▲25.0(同△18.1)であり、▲43.1ポイントと大幅に悪化した。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、製造業▲22.2(同±0.0)、建設業▲35.7(同▲33.3)である。特に、製造業はマイナス幅が▲22.2ポイントと大幅に拡大した。

○ 向こう3ヶ月(7月から9月)の先行き見通しについては、全産業では、▲7.2(前月水準▲13.8)となり、マイナス幅が△6.6ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大する見通しの業種は、製造業△22.2(同△5.5)である。マイナス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、卸小売業±0.0(同▲14.2)、建設業▲42.8(同▲46.6)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、サービス業▲25.0(同±0.0)であり、マイナス幅が▲25.0ポイントと大幅に拡大する見通しである。

平成19年6月の採算DI値(前年同月比)の推移

	平成19年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 7月~9月(6月~8月)
全産業	▲15.2	▲17.1	▲15.7	▲20.0	▲15.2	▲23.1	▲7.2(▲13.8)
建設	▲23.0	▲26.6	▲23.0	▲31.2	▲33.3	▲35.7	▲42.8(▲46.6)
製造	▲5.5	±0.0	▲5.8	▲17.6	±0.0	▲22.2	△22.2(△5.5)
卸・小売	▲17.2	▲23.0	▲24.1	▲33.3	▲28.5	▲16.0	±0.0(▲14.2)
サービス	▲16.6	▲18.1	±0.0	△30.0	△18.1	▲25.0	▲25.0(±0.0)



【平成19年6月の仕入単価についての状況】

○ 6月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲42.0(前月水準▲38.8)となり、マイナス幅が▲3.2ポイント拡大した。

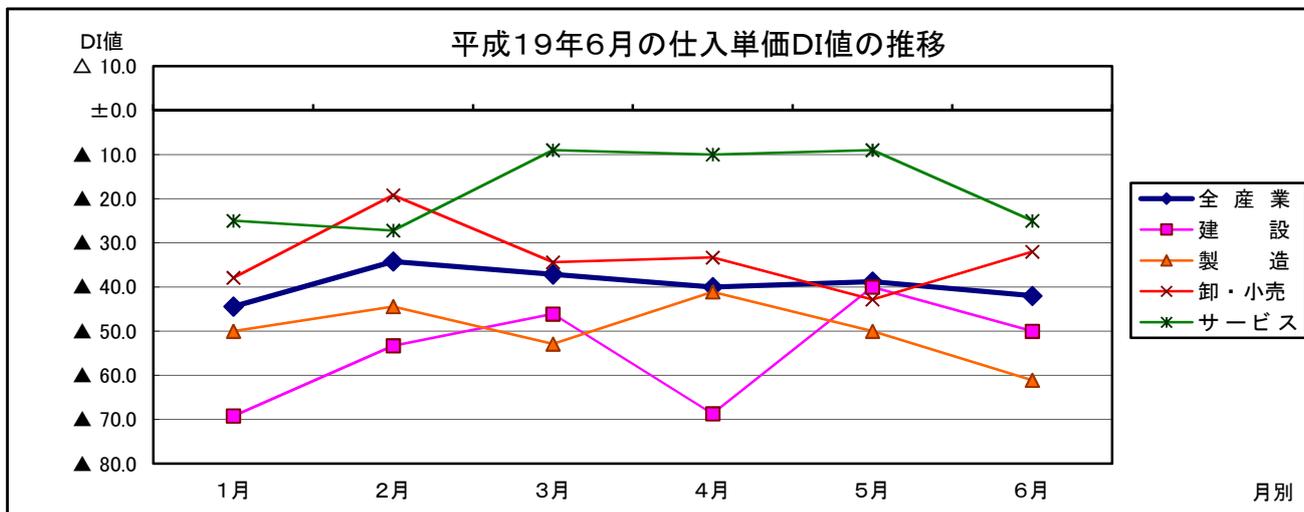
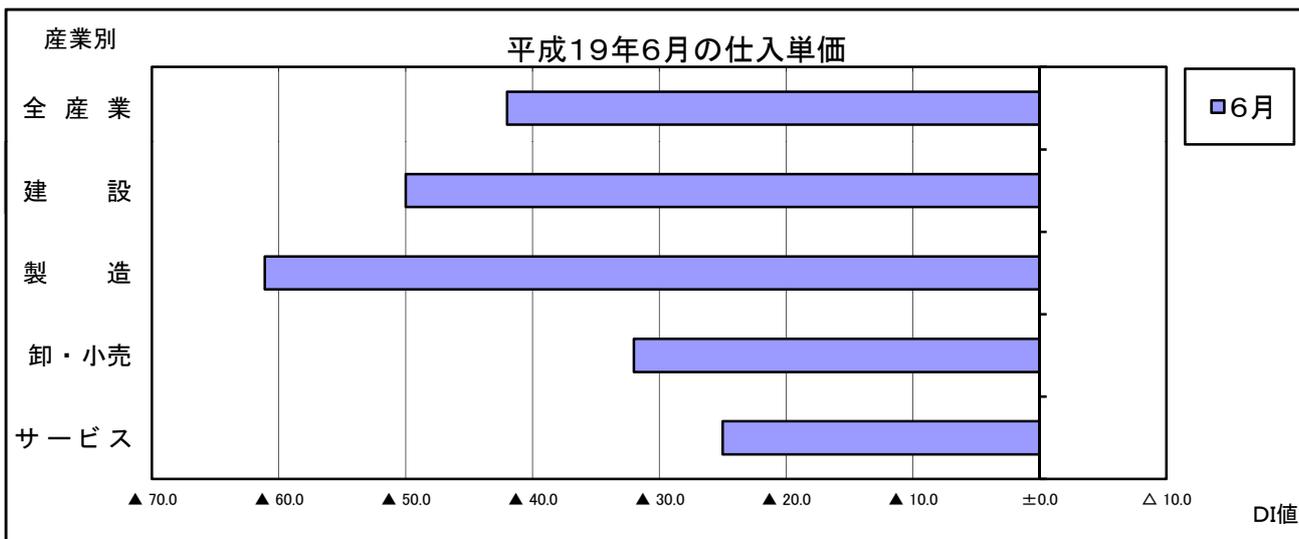
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、卸小売業▲32.0(同▲42.8)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、サービス業▲25.0(同▲9.0)、製造業▲61.1(同▲50.0)、建設業▲50.0(同▲40.0)である。

○ 向こう3ヶ月(7月から9月)の先行き見通しについては、全産業では、▲27.5(前月水準▲34.7)となり、マイナス幅が△7.2ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、卸小売業▲20.0(同▲32.1)、製造業▲33.3(同▲38.8)、建設業▲35.7(同▲40.0)、サービス業▲25.0(同▲27.2)であり、全産業でマイナス幅が縮小する見通しである。

平成19年6月の仕入単価DI値(前年同月比)の推移

	平成19年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 7月~9月(6月~8月)
全産業	▲44.4	▲34.2	▲37.1	▲40.0	▲38.8	▲42.0	▲27.5(▲34.7)
建設	▲69.2	▲53.3	▲46.1	▲68.7	▲40.0	▲50.0	▲35.7(▲40.0)
製造	▲50.0	▲44.4	▲52.9	▲41.1	▲50.0	▲61.1	▲33.3(▲38.8)
卸・小売	▲37.9	▲19.2	▲34.4	▲33.3	▲42.8	▲32.0	▲20.0(▲32.1)
サービス	▲25.0	▲27.2	▲9.0	▲10.0	▲9.0	▲25.0	▲25.0(▲27.2)



【平成19年6月の従業員についての状況】

○ 6月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、△13.0(前月水準△11.1)となり、プラス幅が△1.9ポイント拡大した。

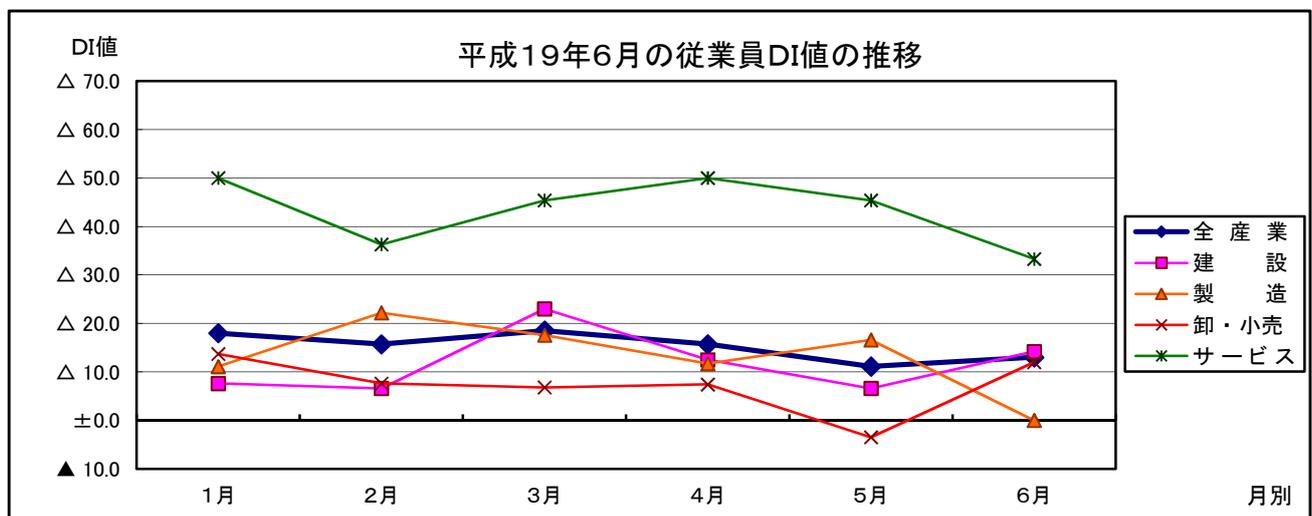
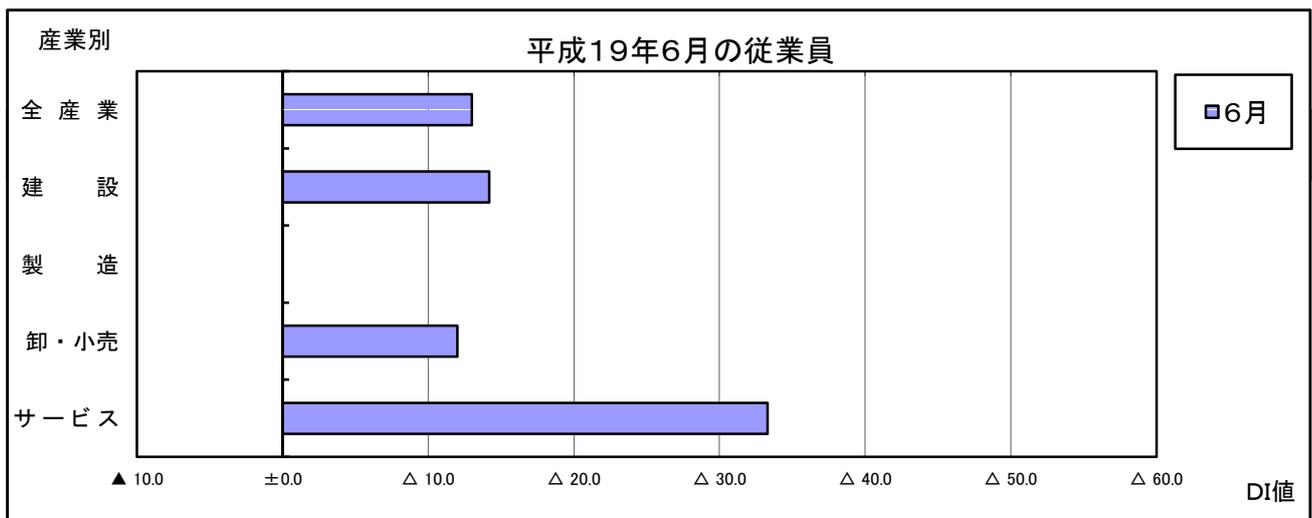
業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大した業種は、建設業△14.2(同△6.6)である。マイナスからプラスに転じた業種は、卸小売業△12.0(同▲3.5)である。プラス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、製造業±0.0(同△16.6)、サービス業△33.3(同△45.4)である。

○ 向こう3ヶ月(7月から9月)の先行き見通しについては、全産業では、△17.3(前月水準△12.5)となり、プラス幅が△4.8ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大する見通しの業種は、建設業△21.4(同△13.3)である。マイナスからプラスに転じる見通しの業種は、卸小売業△12.0(同▲3.5)である。プラス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、サービス業△33.3(同△45.4)、製造業△11.1(同△16.6)である。

平成19年6月の従業員DI値(前年同月比)の推移

	平成19年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 7月~9月(6月~8月)
全産業	△18.0	△15.7	△18.5	△15.7	△11.1	△13.0	△17.3(△12.5)
建設	△7.6	△6.6	△23.0	△12.5	△6.6	△14.2	△21.4(△13.3)
製造	△11.1	△22.2	△17.6	△11.7	△16.6	±0.0	△11.1(△16.6)
卸・小売	△13.7	△7.6	△6.8	△7.4	▲3.5	△12.0	△12.0(▲3.5)
サービス	△50.0	△36.3	△45.4	△50.0	△45.4	△33.3	△33.3(△45.4)



【平成19年6月の資金繰りについての状況】

○ 6月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲5.7(前月水準▲4.1)となり、マイナス幅が▲1.6ポイント拡大した。

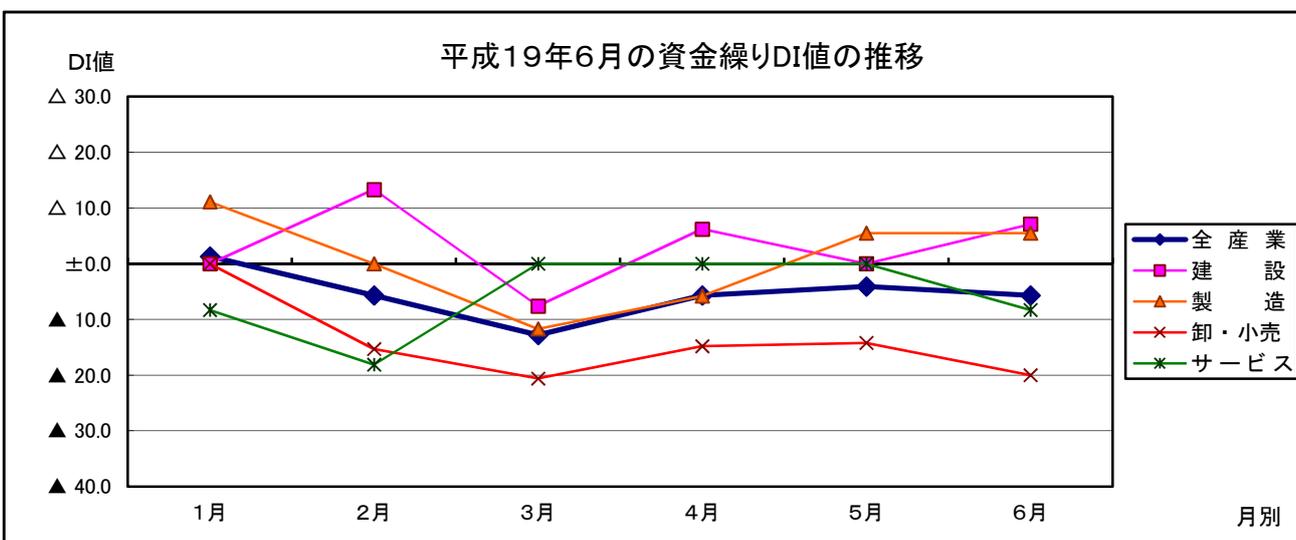
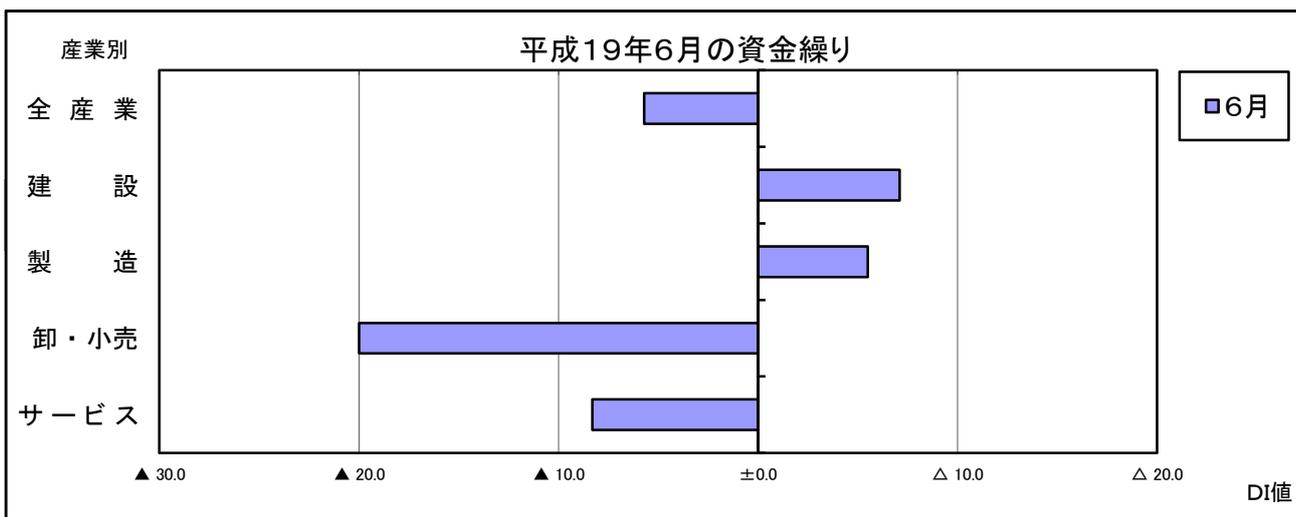
業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大した業種は、建設業△7.1(同±0.0)である。変らない業種は、製造業△5.5(同△5.5)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、サービス業▲8.3(同±0.0)、卸小売業▲20.0(同▲14.2)である。

○ 向こう3ヶ月(7月から9月)の先行き見通しについては、全産業では、▲7.2(前月水準▲5.5)となり、マイナス幅が▲1.7ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大する見通しの業種は、製造業△5.5(同±0.0)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、幅の大きい順に、サービス業▲8.3(同±0.0)、建設業▲7.1(同±0.0)、卸小売業▲16.0(同▲14.2)である。

平成19年6月の資金繰りDI値(前年同月比)の推移

	平成19年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 7月~9月(6月~8月)
全産業	△1.3	▲5.7	▲12.8	▲5.7	▲4.1	▲5.7	▲7.2(▲5.5)
建設	±0.0	△13.3	▲7.6	△6.2	±0.0	△7.1	▲7.1(±0.0)
製造	△11.1	±0.0	▲11.7	▲5.8	△5.5	△5.5	△5.5(±0.0)
卸・小売	±0.0	▲15.3	▲20.6	▲14.8	▲14.2	▲20.0	▲16.0(▲14.2)
サービス	▲8.3	▲18.1	±0.0	±0.0	±0.0	▲8.3	▲8.3(±0.0)



【平成19年6月の業種別業界内トピックス】

産業別	概況	キーワード	業種
建設	前回同様、役所工事の発注があるが、予定価格を超える積算金額になってしまう。(材料価格高騰)	・公共工事 ・不採算物件 ・仕上上昇	一般土木建築工事業
	良い話題はありません。	・厳しい状況	一般土木建築工事業
	天気により工程が左右されやすい時期、が悩みの種です。	・天候の影響	板金・金物工事業
製造	原材料価格の高騰を販売価格に転嫁するよう努力している。	・仕上上昇 ・値上げ	ゴムベルト・ゴムホース・工業用ゴム製品製造業
	状況の変化は先月と変わらず。 複写機・プリンター関係に使用されているキャリアは好調だが、相変わらずカイロ関係は不調。	・鉄粉事業好調 ・カイロ事業不調	その他の鉄鋼業
	6月初旬に来場者10万人規模の展示会に出品したが、例年以上に来場者、引合が多かった。	・展示会好評	その他の機械・同部分品製造業
卸・小売	金利等の影響は無いと思います。今一番消費を鈍化させているのは、年金・天引きetc. . . 政治的な問題だと思います。	・金利影響なし ・政治問題	食料・飲料卸売業
	流山おおたかの森SCの開業後3ヶ月が過ぎ、他の商業施設においては、その実質的な影響度が明確になってくることと思われます。さらに柏ステーションモールの改装が8月に一段落することによって、商圈内における各商業施設の優勝劣敗が見えてくるものと思います。	・大型店出店 ・ステーションモール改装	百貨店
	昨年の冷夏から今年猛暑予想(ラニーニャ)から衣料品を中心とした盛夏商品の伸びを期待。	・天候の影響 ・夏物商品	その他の各種商品小売業(従業者が常時50人未満のもの)
	昨今の状況は、野菜の入荷減少、単価安値、果実は入荷減の単価高であり、全体的にも売上減少し、今後においても大きな変化は見られないと思われます。しかし、気象予報において、例年がない異常発生予測の中、数量の大きな減や品質低下、玉の伸張が小さめ等が考えられ、産地状況を良く把握し、安定した供給と需要に対応すべく、努力していきたい。	・野菜入荷減単価安 ・果実入荷減単価高 ・売上減少 ・天候の影響	食料・飲料卸売業
	去年は、たばこ値上げに伴う駆け込み需要があったため、6月の売上が良かったが、今年はその部分がない分、売上が落ちている。 今、一番の問題はパート・アルバイトの確保が非常に困難になっていること。	・売上減少 ・人手不足	その他の各種商品小売業(従業者が常時50人未満のもの)
	パートの募集で応募ゼロ。人手不足(人材難)の傾向続く。 麻疹の流行で学校閉鎖と学級閉鎖等の影響で売上の偏重あり。おおたかの森(高島屋・ヨーカ堂)の影響と思う。 売上は若干減少傾向になると思う。 売上、仕入れについては天候を見極めて慎重にしたい。	・人手不足 ・麻疹 ・大型店出店 ・売上減少 ・天候の影響	その他の飲食料品小売業
	原油高騰のため	・原油高騰	燃料小売業(ガソリンスタンド含まず)
	小売販売業者の厳しい経営環境はますます不利。柏支部登録名簿から毎月のように会員が削除されている。明日は我が身にならないように最大限に努力したい。	・厳しい状況 ・燃料小売業減少	燃料小売業(ガソリンスタンド含まず)
	柏関連雑誌「柏ウォーカー」7/27(金)発売予定。予価780円。	・柏ウォーカー	書籍・文房具小売業

【平成19年6月の業種別業界内トピックス】

	<p>柏の店は競争激化のため、大変厳しい。他の店は大変良い店もあり、店舗間格差が大変大きい(78%~149%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・競争激化 ・厳しい状況 ・立地 	時計・眼鏡・光学機械小売業
	<p>梅雨入りとなったが、空梅雨が予想され、気温も高く、カジュアルな夏物衣料品が売れている。単価が低く、売上を押し上げるまでにはいたってない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・天候の影響 ・夏物商品 ・単価安 	その他の各種商品小売業(従業者が常時50人未満のもの)
	<p>6月度は前月に引き続き、月初から入店客数・売上共に回復傾向がみとれた。 しかし、8月初旬まで続く7・8階大型店導入に伴うリニューアル工事の影響により、入店客数・売上高共に前年を下回る推移となっている。 後半に掛けては、6/23(土)レストレン街に新規店が2店舗オープンすることから、告知を強化し、入店を促していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ステーションモール改装 ・テナントオープン 	各種商品小売業
サービス	<p>県内の業界で毎年施行される理容フェスティバルを柏支部で11/20(火)プラザヘイアンで開催されます。柏の他の業種にも活況が出ればと考えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・理容フェスティバル 	理容業
	<p>忙しい週と、暇な週が交互にやってくるそうです。ボーナスが出た後は予約が増えました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ボーナス ・予約増 	食堂・レストラン
	<p>国は経済が好転していると言うが、依然一般消費は伸びていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・厳しい状況 	食堂・レストラン
	<p>宴会・会議・展示会ともに平年並み。 宿泊はスポーツ団体需要が多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・宴会平年並み ・スポーツ団体需要 	ホテル

【平成19年6月の多い景気キーワード】

◎天候の影響

- ・ 天気により工程が左右されやすい時期、が悩みの種です。 (建設業)
- ・ 去年の冷夏から今年猛暑予想(ラニーニャ)から衣料品を中心とした盛夏商品の伸びを期待。 (卸小売業)
- ・ 昨今の状況は、野菜の入荷減少、単価安値、果実は入荷減の単価高であり、全体的にも売上減少し、今後においても大きな変化は見られないと思われます。しかし、気象予報において、例年にならぬ異常発生の予測の中、数量の大きな減や品質低下、玉の伸張が小さめ等が考えられ、産地状況を良く把握し、安定した供給と需要に対応すべく、努力していきたい。 (卸小売業)
- ・ パートの募集で応募ゼロ。人手不足(人材難)の傾向続く。 (卸小売業)
麻疹の流行で学校閉鎖と学級閉鎖等の影響で売上の偏重あり。おたかの森(高島屋・ヨーカ堂)の影響と思う。
売上は若干減少傾向になると思う。
売上、仕入れについては天候を見極めて慎重にしたい。
- ・ 梅雨入りとなったが、空梅雨が予想され、気温も高く、カジュアルな夏物衣料品が売れている。単価が低く、売上を押し上げるまでにはいたっていない。 (卸小売業)

◎厳しい状況

- ・ 良い話題はありません。 (建設業)
- ・ 小売販売業者の厳しい経営環境はますます不利。柏支部登録名簿から毎月のように会員が削除されている。明日は我が身にならないように最大限に (卸小売業)
- ・ 柏の店は競争激化のため、大変厳しい。他の店は大変良い店もあり、店舗間格差が大変大きい(78%~149%) (卸小売業)
- ・ 国は経済が好転していると言うが、依然一般消費は伸びていない。 (サービス業)

平成19年6月のCCI - LOBOとの比較

- 【業況DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲21.7に対し、「CCI-LOBO」が▲29.5で、マイナス幅が7.8ポイント小さい。「柏の景気」の方が10ポイント以上良い業種は、建設業・製造業。「柏の景気」の方が悪い業種は、卸小売業・サービス業。
- 【売上DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲8.6に対し、「CCI-LOBO」が▲21.4で、マイナス幅が12.8ポイント小さい。「柏の景気」の方が10ポイント以上良い業種は、建設業・卸小売業・サービス業。「柏の景気」の方が悪い業種は、製造業。
- 【採算DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲23.1に対し、「CCI-LOBO」が▲27.5で、マイナス幅が4.4ポイント小さい。「柏の景気」の方が良い業種は、建設業・製造業・卸小売業。「柏の景気」の方が悪い業種は、サービス業。
- 【仕入単価DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲42.0に対し、「CCI-LOBO」が▲30.1で、マイナス幅が11.9ポイント大きい。「柏の景気」の方が全ての業種で悪くなっており、10ポイント以上悪い業種は、製造業・サービス業。
- 【従業員DI】 全産業合計では、「柏の景気」が△13.0に対し、「CCI-LOBO」が△0.2で、プラス幅が13.2ポイント大きい。「柏の景気」の方が10ポイント以上良い業種は、建設業・卸小売業・サービス業。「柏の景気」の方が悪い業種は、製造業。
- 【資金繰りDI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲5.7に対し、「CCI-LOBO」が▲19.8で、マイナス幅が14.1ポイント小さい。「柏の景気」の方が良い業種は、建設業・製造業・サービス業で、10ポイント以上良い業種は、建設業・製造業。「柏の景気」の方が悪い業種は、卸小売業。

平成19年6月の柏の景気天気図

柏の景気情報と全国CCI LOBOとの比較

景気天気図					
	特に好調 DI > 50	好調 50 > DI > 25	まあまあ 25 > DI > 0	不振 0 > DI > -25	極めて不振 DI < -25

業況DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 21.7	 21.4	 5.5	 32.0	 25.0
CCI LOBO	 29.5	 46.0	 23.4	 26.5	 24.5

売上DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 8.6	 14.2	 16.6	 4.0	 ±0.0
CCI LOBO	 21.4	 37.9	 10.7	 19.7	 20.3

採算DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 23.1	 35.7	 22.2	 16.0	 25.0
CCI LOBO	 27.5	 44.3	 28.6	 20.9	 23.7

仕入単価DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 42.0	 50.0	 61.1	 32.0	 25.0
CCI LOBO	 30.1	 41.5	 47.3	 15.5	 23.5

従業員DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 13.0	 14.2	 ±0.0	 12.0	 33.3
CCI LOBO	 0.2	 17.9	 2.0	 6.0	 2.7

資金繰りDI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 5.7	 7.1	 5.5	 20.0	 8.3
CCI LOBO	 19.8	 34.3	 16.8	 16.8	 16.1

 は「柏の景気」の方が、10ポイント以上良い項目

 は「柏の景気」の方が、10ポイント以上悪い項目

CCI - LOBO

商工会議所早期景気観測(6月速報)

調査期間：平成19年6月18日～22日

調査対象：全国の407商工会議所が2579業種組合等にヒアリング調査を実施。

全国の業況

全指標が悪化、業況DIは五カ月ぶり

六月の景況をみると、全産業合計の業況DI(前年同月比)は、一・五(以下同)は、前月水準(一・五)よりマイナス幅が四・四ポイント拡大して、二九・五となり、五カ月ぶりにマイナス幅が拡大した。

【建設業】では、「受注が確保できない。仕入単価上昇の影響で採算面でも引き続き苦しい状況が続いている」(一般工事)、「公共工事、民間工事も受注が減少している。また、原材料価格も上昇しており、業況は厳しい」(建築工事)、「台板の仕入価格が上昇し、経営を圧迫している」(建築工事)と仕入コストの上昇を訴える声が寄せられている。

【製造業】では、「新規の取引先が増加した」(かばん製造)、「設備投資が順調に進んでいる」(金属加工機械製造)との声がある一方、「素材価格の高騰が経営を圧迫している」(金属加工機械製造)、「鋼材の価格が上昇している」(自動車・付属品製造)と、仕入コストの上昇を訴える声も寄せられている。

【卸売業】では、「個人消費が伸びない」(各種商品卸売)

「中小企業の業況は相変わらず厳しい」(その他の卸売)、「売上は増加したものの、採算面では悪化している。先行きは不透明」(食料・飲料卸売)、「売上が減少した」(食料・飲料卸売)との声も寄せられている。

【小売業】では、「夏物婦人衣料品がよく売れている。先行きにも期待が持てる」(その他の小売)、「来店客数が増加した」(商店街)との声がある一方で、「借入の支払利息が増加したことにより、資金繰りにも影響する」(商店街)、「個人消費に力強さを感じられない」(百貨店)との声も寄せられている。

【サービス業】では、「業況の回復が期待できる」(建物サービス)との声がある一方で、「相変わらず来店客数が少ない」(すし店)、「売上が減少している。業況は大変厳しい」(その他の一般飲食)、「原油価格は値上がり傾向。運輸業界にとっては死活問題」(その他サービス)との声も寄せられている。

六月のキーワード

悪化への懸念

各業種から、業況の悪化と先行きへの懸念を訴える声が寄せられている。建設、製造からは、「収益、資金繰りともに悪

化し、業況は非常に厳しい」(米子・一般工事)、「公共工事が減少し、受注を確保できない。民間工事も請負単価が下落している。業界を取り巻く環境は一段と悪化するだろう」(金沢・建築工事)、「引き合いはあるものの、受注につながらない。先行きに不安を感じる」(熊本・その他の製造)との声も寄せられている。また、卸売、小売、サービスからも、「中小企業は相変わらず厳しい状況が続いている」(鎌倉・その他の卸売)、「消費者の購買意欲が減退している」(伊那・商店街)、「業績が伸びない」(福岡・スポーツ施設)、「景気回復の兆しが見られない」(会津喜多方・理容)と厳しい業況を訴えるコメントが寄せられている。

仕入コスト上昇
また、各業種から、原材料価格の高騰による仕入コストの上昇を訴える声が寄せられている。建設、製造からは、「原材料価格が上昇している。業績は悪化する見通し」(名古屋・管工事)、「鋳物原材料の値上がりの影響が今後も続くと思われる」(桑名・鉄素形材製造)、「ステンレスの価格が上昇している」(秋田・一般産業用機械製造)との声も寄せられている。また、小売、サービスからは、「六月から、油、大豆や基本調味料などの値上げが

相次ぐ」(上田・その他の小売)、「石油製品や樹脂関係製品の価格が上昇している。売上が伸びない中、仕入価格はかりが上昇している」(深谷・商店街)、「食用油やマヨネーズの価格が上昇している」(札幌・百貨店)といったコメントも寄せられている。

金利負担の増加

さらに、各業種から、金利負担の増加を訴える声が寄せられている。建設、製造、小売から、「顧客の住宅ローン金利の上昇が気になり」(唐津・建築工事)、「設備投資は順調に進んでいるが、金利上昇に伴う負担の増加が懸念材料である」(さいたま・金属加工機械製造)、「市場金利運動の短期借入れはすでに次回の利上げを織り込み始めており、金利負担は厳しさを増している」(新潟・水産食料品製造)、「運転資金の調達が必要だが、金利負担が増加している」(横浜・その他の輸送用機械製造)、「利上げにより、企業の金利負担が増加した。一方、預貯金金利の上昇による消費者の購買意欲向上は感じられない」(盛岡・百貨店)といったコメントが寄せられている。

全国・産業別業況DIの推移

	全産業	建設	製造	卸売	小売	サービス
1月	28.0	40.4	18.1	31.9	28.7	28.1
2月	27.8	41.5	14.3	35.8	30.0	27.2
3月	26.0	42.8	14.5	37.7	25.4	23.7
4月	25.3	36.8	20.6	38.2	19.8	23.9
5月	25.1	40.9	21.3	27.8	22.2	20.9
6月	29.5	46.0	23.4	39.4	26.5	24.5
見通し	25.1	43.2	25.9	25.0	20.3	18.0

「見通し」は当月水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI